

来年度（令和8年度）活動計画案

I. 運営組織の基盤強化（4月目標）

新団体が持続可能で活発な活動を行うための基盤を固めます。

●任意団体の設立と法人化の検討

「（仮称）本郷パーク運営協議会」の規約の確定と設立（4月目標）。

NPO 法人化を見据えた役員・社員の選任（特に収益事業を担える人材や若手メンバーの登用を重視）。
理事会や運営委員会の設置と定例開催。

●運営資金の確保

行政からの管理業務委託費（主たる収入源）の詳細確認と受託準備。

助成金・補助金の申請準備と実施（例：「子どもゆめ基金」など）。

協賛金・寄付金の募集体制の確立。

●運営体制の確立

事務局機能とイベントチーム・見守りチームなどの役割分担と連携体制の明確化。

「運営団体以外のサポーター」制度を整備し、高齢者を含む幅広い住民の関わり方を明確化。

II. 核となる活動・イベントの計画と実施

規約に定める活動目的（次世代育成、コミュニティ形成、地域活性化）を実現するための具体的な活動を実施します。

活動の柱	具体的な事業内容	備考
次世代育成・遊び場運営	冒険遊び場（プレーパーク）の運営と環境整備。	「自分の責任で自由に遊ぶ」を基本理念とする。
	土・水・火・木などの自然素材を活用した体験活動。	本郷らしい遊びとして泥遊び、木工遊び、火起こしなどを計画。
	子どもの遊びをサポートするプレーリーダーの確保と育成（有給職員の検討）。	活動日誌や検討会を通じて運営のPDCAサイクルを回す。
コミュニティ形成・交流	多世代交流およびインクルーシブな居場所の運営。	障がい児や高齢者への配慮（多目的トイレ、屋根付き休憩所、バリアフリー動線など）を意識した活動設計。
	子育て支援および青少年の活動拠点づくり。	中高生の居場所づくりを意識し、長時間の滞在や自習ができるフリースペースの活用を検討。
地域活性化・賑わい創出	地域行事との連携（せと市、盆踊りなど）およびイベントの企画・運営。	「あとちであそぼうまつり」などの既存イベントの継続と、収益事業（物品販売、キッチンカー誘致）の検討。
	本郷の歴史・文化・自然等の地域資源を活かした情報発信。	会津本郷焼やメタセコイアの景観を活かした活動を計画。

※まずは、【地域活性化・賑わい創出】の部分のイベント実施がメインの活動になりそう。

III. 整備計画への継続的な関与

町が策定する整備計画や実施設計に対し、現場の利用者の声を反映させます。

●設計への意見反映

町に対して、施設設計・整備の具体的な検討タイミング（建築物の規模・配置、遊具の選定、駐車場の台数など）を継続的に確認し、組織の意見を反映させる。

●実証実験の継続

跡地の一般開放や「遊びの見守り活動」を継続し、日常的な利用状況や子どもたちのニーズを調査。

利用を通じて得られた課題（ボール遊びエリア、フェンスの必要性、遊具の種類など）を整備計画へフィードバックする。

活動計画の詳細は、組織が正式に設立された後、「具体的な活動内容」と「役割分担」を決める運営委員会（月1回程度を想定）で詰めていくことになります。